

2026年6月の生産・出荷実績に関する石油化学工業協会コメント

令和8年7月16日

2月末のホルムズ海峡の実質封鎖以来、当協会の各会員企業においては、国内石油精製からのナフサ調達の継続、中東以外からのナフサ調達の拡大及び製品在庫の活用により、石油化学製品の供給継続に全力を尽くしている。

6月の生産・出荷実績は、ナフサクラッカー等における定修の集中もあり、エチレン生産量は前年比、前年同月比で減少であった。主要石油化学製品であるポリエチレンやポリプロピレン等において、一部で製造プラントにおける定期修理の影響など製品毎の差はあるものの、国内市場向けに必要な生産を維持している。

主要4樹脂の国内出荷においては、先月の大型連休による出荷日数の減少による影響分を取り戻して対前月でプラスとなっている。

在庫の状況についても、ポリエチレンやポリプロピレンにおいては国内需要の3カ月前後の水準を6月末においても維持しており、直ちに供給困難となる状況ではないと認識している。

政府からもナフサ由来の化学製品の供給は年度を超えて継続できる見込みとされているとおり、石油化学製品の供給は、7月以降も平年並みの供給が見込まれており、引き続き需要を満たすべく安定供給を維持していく。

当協会としては、引き続き、国及び会員企業と密接に連携しつつ関連情報収集や必要な措置の徹底など安定供給に必要な対応を行っていくこととしている。

最後に、当協会としては、事態が一刻も早く収束し、ペルシャ湾地域における船舶の安全航行が回復することを強く求めるものである。

【本件に関するお問合せ】

石油化学工業協会

志村、武井 TEL 03-3297-2019